

イラワジ川における低吃水軽量台船の普及・実証事業

SAマリン 有限会社(広島県)

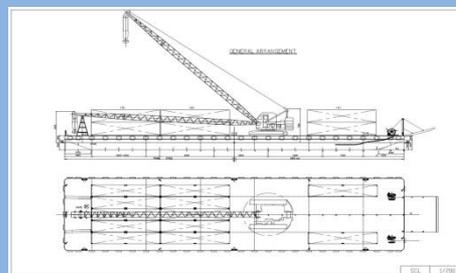
ミャンマー国の開発ニーズ

- 乾季の低吃水地域でも航行可能な輸送手段の確保。
- 急速に普及するコンテナ物流への対応。

普及・実証事業の内容

- イラワジ川において雨季・乾季における低吃水軽量台船の運航実証の実施。
- コンテナ輸送にかかるニーズ・貨物量調査及びコンテナ輸送の実証の実施。
- 実証結果を踏まえたイラワジ川における今後の内陸水運事業への提言。

中小企業の技術・製品



製品・技術名

製品名: 低吃水軽量台船(自走荷役可能なランプ付き、Roll-on, Roll-offタイプ、クレーンの搭載が可能な構造)

性能: 水深=1mの浅瀬でも運行可能な低吃水軽量台船(コンテナ一段積の場合は吃水1m、ただしコンテナ二段積の場合は吃水1.55m)

最大想定積載重量: 770t (水深1m、吃水0.9mの時には、最大想定積載量430t)

寸法: 全長60.0m × 幅15.0m × 深さ3.00m

ミャンマー国側に見込まれる成果

- 乾季に出現する多くの浅瀬で支障をきたしている船舶の航行の安定化。
- 急速に拡大しているコンテナ物流への対応。交通渋滞の緩和、環境改善。

日本企業側の成果

現状

- 瀬戸内海を中心として沿岸台船輸送事業を展開
- 潮流の速い所や干満差の激しい瀬戸内海において、2名(船長、船員)で操船対応可能。

今後

- 現地法人を設立し、イラワジ川において輸送運航ビジネスの展開。